前理工学部一部自治会委員長岸田邦雄君は次の事を自己批判しました

一、真田執行部において総務部長として自ら大学にとって不利になる様な掲示物、ビラその他を検閲しこれを自分の権限で停止させました。

一、四十二年六月理工学部新聞「若きエンジニア」が行ったアンケートを学生相談室と結託して没した。

一、四十二年十一月より岸田執行体になってからも大学側に不利になる掲示物、ビラ、その他を検閲しこれを自分の権利で停止させた。

一、四十三年三月経済学部でデモが行われた時古田会頭に呼ばれたので会いに行き当時学連中執を掌握していたので学連中執がこの運動を消滅させる事が出来ると思い古田会頭にこの経済学部の運動は全学的にならないと報告した。

一、四十三年五月古田会頭に会った時経済学部の処分はあますぎるのでもっと厳しくやるべきだと言った。

一、学生相談室において学生に話せないような事を言った。

一、日本大学学生会議議長寺田より学連中執に高橋が法学部より出ているがパージしてほしいと言われてそれを行い高橋をパージした。

一、二十億円問題についての物理学科数学科からの決議文に対して学生相談室と結託してこの決議文を不許可にした。

一、学生相談室において杉井常任学生指導委員に全く根拠がないのに特定少数の学生に対してある政治団体に関係があるという中傷を行いデマを流した。

一、日大からアカを追い出したかったのであらゆる弾圧を行った。

一、古田会頭をバックに学連中執が二十億円使途不明金について運動を起さないように恫喝を加えた。

一、自分が学校に良くみられるように学生自治会組織を私物化し自己保身に努めた。

一、佐久間執行部に対する反抗ならびに自分個人の卒業のために薬学・工化四年生連合会を作りそれを私物化しこの斗争を消滅させようとした。

右の事を自己批判し左記の事を行うことを確約します。

一、学生相談室において杉井常任学生指導委員に全く根拠がないのに特定少数の学生に対してある政治団体に関係があるという中傷を行いデマを流した事については直にこの事が全く根拠がないものである事を全学生に提示しその特定個人に対し全学生の前で謝罪します。

一、自分の個人的利益の為にだけ作った薬学・工化四年連合会については直にこれを解散し四年生に対して一人づつ謝罪し理工学部の斗争に主体的に参加する様に説得します。

一、古田会頭と結託する事によって日大十万の学生を裏切った行為に対しては日大十万の学生に対しあらゆる形で自己批判します。

右の事確約します。

昭和四十三年八月二十六日

日本大学理工学部薬学科四年
岸田邦雄

日本大学全学共斗会議理工学部斗争委員会
委員長 佐久間順三殿

一自分の就職に関しては、升谷教授より総長推薦をもらい武田製薬に入りました。

※ 学校側は学生同志で分裂を起こさせる様にしハレンチにも学生が学友を弾圧するように教育者であるまじき態度には断固抗議し斗かわねばならない。